

大学の就職力

田中真紀子「防衛オタク首相」
新NISA アクティブ投信狙う

鴻上尚史 × 開成校長
Da-iCE 不揃いの強み

AERA

'24.10.21
No.48
アエラ
定価 600円

昭和63年6月10日第3種郵便物認可 2024年10月21日発行
毎週月曜日発行 10月15日発売 通巻2054号



〔巻頭特集〕

51大学 × 110社の就職実績

人気企業に 強い大学

ダンス&ボーカルグループ
Da-iCE

主体的に決める 学校でも経験を

AERAサポ高記者と考える「若者と政治」

選挙権の年齢が18歳以上に引き下げられて8年経つが、10、20代の投票率は低い水準にとどまる。若者の政治参加が進まないのはなぜなのか。高校生たちが語り合うと、政治を身近に感じるヒントが見えてきた。

—今回は「若者の政治参加が進まないのはなぜか」をテーマに、AERAサポーター高校生記者のみなさんと議論したいと思います。まず、みなさんは政治や政治家についてどんな印象を持っていますか。

国民の代表であるはずなのに、そう実感できる場面がなく、遠い存在に見える気がします。それに、政治家の年齢層が高いですよ。

石川明奈（沖縄カトリック高校2年） それも男性が多くて、属性が偏りすぎていると感じます。私の通う学校は国立なので、かなり直接的に影響している気がします。猛暑でもエアコンの設定温度を下げられないなど、教育現場がないがしろにされているように感じますね。

小坂井希美（奈良女子大学附属中等教育学校6年） 実際、文部科学省の予算は減っていますよね。私の通う学校は国立なので、かなり直接的に影響している気がします。猛暑でもエアコンの設定温度を下げられないなど、教育現場がないがしろにされているように感じますね。

岡島由奈（捜真女学校高等学校部2年） あとは、裏金とか宗教との癒着とか、マイナスのニュースが多いので、本当に日本をよくするために働いてくれているのかなと疑問に思っています。清廉潔白に頑張っている方も多いと思うのですが。

—若者の投票率は他の世代と比べて低いです。直近の国政選挙である2022年参院選は全体の52・05%に対して、18、19歳で35・42%、20代で33・99%でした。投票に行かない若者が多いのはなぜだと思いますか。

岡島 私たちの生活に政治が入ってこないからだと思います。普段、私たちに向けられた政策があまり見えてこない。テレビをつけてもニュースではなくバラエティー番組を見る人が多いので、政治に対する関心も生まれません。その状態で選挙となっても「普段からよく知ら



座談会実施。東、石川、やつら、奈、川、参、加、者、は、4人。10月10日、東京、神奈川、沖縄、近畿、社会、自、治、体、の、高、校、生、が、参、加、し、た。

す。年齢層が高い男性中心の議会で、若い人や女性向けの政策がどれだけ出てくるのか、少し不安になります。

岡島 学校生活では生徒会役員など選挙の機会もあります。選挙や生徒会活動などを通して変わる実感を得たことはありませんか。岡島 うちの学校でも選挙はありません。ただ、立候補者がなかなか集まらないようです。信任投票になる役職が多く、政治参

ないし」と、投票する意味を感じられないように思います。石川 今回の座談会に向けて、クラスメイトに18歳になったら投票に行くかアンケートをとってみたのですが、「行かない」という人の中で多かったのは「自分が行っても何も変わらない」という意見でした。

服部 今年の7月に東京都知事選挙があつて、私は17歳でしたがクラスメイトには18歳になっている人も大勢いました。私の周りでは比較的投票に行った人が多かったようですが、石川さんが言ったように「自分の一票で何か変わるわけではない」と棄権した人も実際にいました。でも、「変わるわけではない」ということは、社会や今の生活に不満や変えてほしいことがあるってことだと思えます。公共や政治経済の授業で選挙の意義や仕組みは習うけれど、もっと身近なレベルで選挙に行くことにはどんな意味があるのか実感できる機会があれば、変わってくるのかなと思います。

—学校生活では生徒会役員など選挙の機会もあります。選挙や生徒会活動などを通して変わる実感を得たことはありませんか。岡島 うちの学校でも選挙はありません。ただ、立候補者がなかなか集まらないようです。信任投票になる役職が多く、政治参





加の機会としては残念ながら形骸化している気がします。

小坂井 私たちの学校では生徒会は役員によって6人くらい立候補することもあって、大がかりな選挙活動をやっています。それ以外にも、生徒たちの投票で物事を決める場面がいくつかあって、一番大きいのは修学旅行。生徒がプレゼンして投票で行き先を決め、修学旅行実行委員会がプレゼン案をもとに実際の旅行プランをつくります。その委員長や副委員長も選挙で決まります。投票で決まると、先生から一方的に決められるよりも納得感がありますよね。方針の決定に関与したという当事者意識も持つことができます。国政などとは一票の重さは全然違

いますけれど、政治参加することへの無力感は払拭されるかなと感じます。

石川 私の学校では数年前、生徒会によって校内でのスマホ使用のルールが大きく変わりました。ルール変更を公約に掲げた人が生徒会長に当選して、実際に先生方と交渉して学校のルールが変わったとき、生徒たちの選挙や政治に対する意識もちょっと変わったような気がします。本当に変わるんだって。

服部 私の学校でも生徒会選挙は結構大がかりにやっています。ただ、小坂井さんと石川さんの学校と違って生徒会の活動が私たちの生活に影響するような場面はあまりありません。小坂井さんたちのお話を聞いて、もし

そうした機会があれば将来にも役立つだろうし、もっと広まってほしいなと思いますね。

——実際の選挙ではTIKTOKなどSNSを活用する候補者も出てきています。高校生にはどう見えているのでしょうか。

服部 この前の都知事選は18歳になった子にとっては初めての投票の機会で、結構盛り上がりたんです。高校生はSNSが情報源になるので、私のSNSも都知事選の話題がだいぶ増えました。周りの同世代の意見も聞けるし、身近に感じられる面もあったと思います。ネットでショート動画を見た候補者が地元で演説しに来るとわかって、友達と見に行ったりもしました。ネットをうまく活用している候補者は若者にかなりアピールできていたんだろうなと感じます。

岡島 私たちの世代はテレビよりもSNSを見ている時間のほうが長いですし、動画などで発信した内容が流れてくると、若者が政治に興味を持つきっかけになるのかなと思います。

小坂井 ただ、SNSの選挙運動は候補者全員がそれをうまく利用できるわけではないので、政策や人柄とあまり関係なく、うまく利用した人だけが注目されることになると思います。

候補者の努力の結果とも言えるでしょうが、選挙の公平性の観

点から議論が必要なのかなとも感じます。

服部 一方で、SNSの選挙運動が注目されているのは、やっている人が少なくインパクトがあるからです。例えば選挙ポスターとか政見放送に代わる公営制度として候補者全員のリアル動画が流れてきても、逆に若者は興味を失うと思います。

——若者の政治参加のカギはどこにあるのでしょうか。

石川 先ほどの話に戻りますが、政治に関心がないという子でもいろいろ不満は持っています。例えば私は沖繩に住んでいます。沖繩から県外の大学に進学するには金銭面などのハードルがあります。貧困率も高く、大学進学が選択肢に入っていないかったり、高校の途中でお金がかかるからとやめてしまったりする子もいます。そうしたことも自分の家庭の問題として終わってしまおう。それって突き詰めると社会の問題なんだよってことがもっと伝わる機会があるといいなと思います。

岡島 みんな高校に進学して卒業していくのが当たり前の環境なので、「お金がかかるから」と高校をやめる子がいるというのは驚きでした。でも、政治で解決できる問題がある、私たちの投票で変えられるんだってことはもっとみんなが知ってい

なければならぬですね。

服部 最近、授業で「権利を持っているのに行使しないのは権利があることに安住して甘えている」ということを学びました。いま、その状況にある若者が多いですよ。ただ、「政治は自分たちが感じている不満を解決する手段である」と思いうるのも事実だと思います。

小坂井 私は、「参加しても意味がない」という意見は責任を政治家に転嫁している言い訳だと思っんです。民主主義の政治は、私たちが政治家にしてほしいことがあって、それを実現してくれる人を選ぶ、逆に政治家は国民が求めていることを考えてその実現のために努力する、その相互の関係で成り立つものです。選挙権は権利だけど、民主主義国家の国民が持っている責任でもあることを、もっと教育していく必要があると思います。

構成 編集部 川口 穰

「AERA サポーター高校」 高校生記者募集中!

3年目を迎えた「AERAサポーター高校」プロジェクトでは、今年度からサポーター高校に登録する学校の生徒たちに、AERAの誌面作りやイベントにご参加いただく企画をスタートしています。応募やお問い合わせはAERAサポーター高校事務局まで。
adv@asahi.com

大学 × 企業

座談会をこう見た!

今回の座談会の内容を、第三者はどのように読む? 高校生と企業の人材採用担当者に感想を聞いた。

AERAサポーター高校
高校生記者のHIGH-SCHOOL
EYE「AI化」が進む現場でも
活躍できるスキルを身につけたい

捜真女学校高等学部 2年生 福永愛莉さん

私は将来ラジオ関係の仕事に就きたいと思っています。しかし今、AIを活用したラジオ局が多く、いつかラジオ関係の仕事がAIによって必要なくなるのではないかと気になっています。そこでお話にもあった、専門を持ってAIの欠点を勉強することや、プレゼン力、社会問題の取捨選択力などを必要なスキルとして、社会に出るまであと数年の学生生活で学んでいけたらいいなと思いました!

AIの作る英文に感じていた不満
原因は情報の偏りか?

成田高等学校 2年生 川村 葵さん

データサイエンスが健康やパーソナライズされた仕事まで広まろうとしていて、全ての人にとって幸福な社会へ進むといいなと思いました。また最近、英検®の課程の変更に合わせてAIに英文を作成してもらい要約するということをしています。出力される英文が似たようなものばかりなのは与えられている情報が偏っているのかもしれない。もっとバラエティーに富んだものになるといいなと思いました。

同僚がロボットになる!?
将来の職場にワクワクします

東京都立豊島高等学校 3年生 服部紀伽さん

AIには感情がない、人間の感情を理解できないというイメージが大きかったので、そんなAIが人間の幸せやウェルビーイングに貢献するために試行錯誤していると知り、心が和みました。働き手不足をAIロボットが補うという内容を読み、将来同僚がロボットという職場で働くのかもしれないと思うと、新鮮でワクワクします。

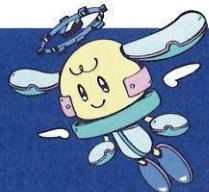
今や誰でも使えるAI
人々の生活や仕事を豊かにするもの

神戸龍谷高等学校 1年生 竹内海翔さん

私はAIチャットを、国語の語句や専門用語の意味、文章の書き方、理数系科目の定理の解説を調べるなど、学習目的や疑問解決のためのアドバイスツールに使っています。AIは人の仕事、職業を奪うと言われていますが、医療や科学、教育、自分の知識の世界が豊かになるものではないかと思います。今や誰でも使えるAIは、人々の生活や仕事の満足度を高められる一つのツールだと改めて考えさせられました。

AIやデータサイエンスの知見を生かし活躍できる機会はたくさんあります

AIやデータサイエンスの考え方を学ぶことで、課題解決や事業貢献できる機会は多くあると考えます。NTTドコモでは、AIやデータ活用は、あらゆる部署で取り入れています。文理問わず学べる機会のある学生時代に考え方を身につけておくと、将来、さまざまな分野で生かせる自身の強みの一つになるとと思います。学びの深さや広さはみな同じではなく、人それぞれで良いのです。みなさんの自分にあった学びを応援します。

株式会社NTTドコモ
総務人事部 採用担当課長
阿久澤 まりさんCOMPANY'S
EYEAI・データサイエンス活用企業
人材採用担当者の

本企画にご協力いただいたみなさん

NTT
docomo

「あなたと世界を変えていく。」を掲げ、5Gインフラの拡大や社会・産業DXソリューションなど多様な事業を展開。研究開発では6G、AIやXR、ロボティクスなどの革新技術に取り組みウェルビーイングな社会の実現を目指す。

RECRUIT

リクルートグループは、テクノロジーの力で「働く」の進化をリードするグローバルテックカンパニー。その中において、株式会社リクルートは日本国内の人材・販促事業およびグローバル斡旋・販促事業を行う事業会社である。

AERAサポーター高校

AERAの企画にさまざまな形で協力をいただく高校の組織。2024年度からは参加校の高校生が記者となって取材・執筆に挑戦する「高校生記者」がスタートした。

詳細はこちらから

高校生記者とは?

AERAサポーター高校の生徒のみなさんが、「AERA」の編集企画・広告企画に参加する試み。現在「AERA」で彼らが参加した記事が連載中!

